プレスリリース

館林市教育委員会 文化振興課

報道関係者各位
ご取材用資料

令和7年3月27日

群馬県主催（GNGFC2024）
「ぐんま次世代映像クリエイターコンペ2024」最優秀賞受賞作品

4/12(土)短編映画「ものがたりの予感」完成披露上映会

新進気鋭の鯨岡弘識監督作品「ものがたりの予感」！

■日本遺産「里沼」の“実りの沼”＝多々良沼を舞台に撮影された鯨岡弘識監督の短編映画「ものがたりの予感」が群馬県主催「ぐんま次世代映像クリエイターコンペ２０２４」で最優秀賞を受賞しました。（応募作品１３６点。うち最終審査対象は１０作品）

■この短編映画は、多々良沼での古代「たたら製鉄」発掘調査を行う研究者が少年と出会うことで物語が展開していきます。主演の加藤亮佑さんは邑楽郡千代田町出身の俳優で、県立館林美術館での演劇公演や同美術館主催の特別イベント等にも出演しています。加藤さんの日本遺産「里沼」への思いがきっかけで多々良沼がロケ地になりました。

■館林市教育委員会では、同作品の最優秀賞受賞を記念して下記のとおり完成披露上映会を開催します。約２０分の映画上映のあとに、鯨岡監督や主演の加藤さんなどが参加するトークセッションも開催予定です。一般向けの上映は今回が初めてとなりますので、ぜひご参加ください！

QR コード
【映画・予告編】

≪短編映画「ものがたりの予感」完成披露上映会≫

❖主催：館林市教育委員会
❖期日：令和７年４月１２日(土)　第１部11:00～12:00　第２部14:00～15:00
❖会場：館林市文化会館　２階小ホール　（〒374-0018 群馬県館林市城町３番１号）
❖参加：無料　【＊定員：各部２００名】
❖申込：《募集期間》４月１日(火)9:00～４月１１日(金)12:00
《募集方法》(1)ネット　→ＬＯＧＯフォーム
(2)電話　→文化会館　0276-74-4111

QR コード
【LOGO フォーム】

【参考】

監督　鯨岡 弘識（くじらおか ひろのり）

兵庫県生まれ。大学卒業後、映像制作会社に入社し、映画やドラマを監督する。 2018 年、『FROM TOKYO TO TOKYO』が Short Shorts Film Festival & Asia 2018 Cinematic Tokyo Program に入選。2021 年、監督した短編映画『Kay』、『終点は海』の両作が国際映画祭で３０以上のアワードを受賞するなど高い評価を得た。2023 年「それってパクリじゃないですか？」や「ゼイチョー」などドラマの監督も担う。2025 年初夏には長編映画初監督となる『青春ゲシュタルト崩壊』が全国劇場で公開予定。

プロデューサー　内藤　諭（ないとう さとし）

愛知県生まれ。大学卒業後、フリーの制作部、プロデューサーとして日本や台湾の映画、テレビドラマの制作に携わる。プロデューサーとしての主な作品としては、映画『ハルをさがして』（第１４回中之島映画祭グランプリ受賞）、台湾ドキュメンタリー映画『湾生回家』（第５２回金馬奨ドキュメンタリー部門ノミネート、第１１回大阪アジアン映画祭観客賞受賞）等がある。また『ものがたりの予感』の鯨岡監督と製作した小編映画『Kay』、『終点は海』の両作は国際映画祭で３０以上のアワードを受賞するなど高い評価を得る。

主演俳優　加藤　亮佑（かとう りょうすけ）

群馬県生まれ。邑楽郡千代田町出身。大学卒業後、ニナガワ・スタジオにて演出家 蜷川幸雄に師事。舞台「わが魂は輝く水なり」（作・清水邦夫）など蜷川演出作品への出演を経て、映像、舞台に出演中。〈TV〉TBS 日曜劇場「陸王」/映画版「仮面ライダージオウ Over Quartzer」　他

〈舞台〉 TRASHMASTERS 『黄色い叫び』（作•演出:中津留章仁）/韓国現代戯曲ドラマリーディング X『激情万里』 / 他多数

〈映画〉 「車軸」（監督：松本准平）/「世界は僕らに気づかない」（監督：飯塚花笑）/「シャイロックの子供たち」（監督：元木克英）/「騙し絵の牙」（監督：吉田大八）　他 多数

〈イベント出演〉 小説・映画『のぼうの城』の舞台となった戦国時代の忍城の歴史を基に発足した埼玉県行田市観光ＰＲ事業『忍城おもてなし甲冑隊』の正木丹波守利英役として 2011 年から６年間、行田市内外をはじめ全国、海外にて演舞、イベント出演した。

問合せ先
館林市教育委員会
文化振興課　文化財係
〒374-0018　群馬県館林市城町３-１
電話：0276-74-4111
FAX：0276-74-4113
メール：bunka@city.tatebayashi.gunma.jp
Xアカウント：@tatebayashi_mus

Gunma Next Generation
Filmmaker
Competition
2024
ぼくらはビー玉を亡くした。
宝の沼で
ものがたりの予感
加藤亮佑　田中珠里
横尾朝陽　吉村昭和　山崎友里江　上村正子　大竹直
監督 / 脚本 / 音楽：鯨岡弘識
プロデューサー：内藤論
撮影：佐藤宏樹　照明：貞永和寛　録音・整音：小牧将人　メイク：安藤メイ　演出助手：前田聖来　制作・ポスターデザイン：島田知子
発掘協力：館林市教育委員会 中村豊　岡屋紀子　岩瀬宇　井坂優斗
撮影協力：日向漁業協同組合 福田連一　原清　群馬県立多々良沼公園　群馬県立館林美術館 坂爪志郎
ケーブルテレビ館林　千代田町役場 総合政策課 まちづくり戦略室　木津川雅　ふくだ歯科医院
機材協力：SIGMA
ロケーション協力：群馬県館林市日向町 多々良沼　群馬県邑楽郡千代田町
制作支援：群馬県 / ぐんまフィルムコミッション
Gunma Next Generation
Filmmaker
Competition 2024
ぐんま次世代映像クリエイターコンペ

監督　鯨岡 弘識　HIRONORI　KUJIRAOKA

兵庫県生まれ。大学卒業後、映像制作会社に入社し、映画やドラマを監督する。 2018 年、『FROM TOKYO TO TOKYO』が Short Shorts Film Festival & Asia 2018 Cinematic Tokyo Program に入選。2021 年、監督した短編映画『Kay』、『終点は海』の両作が国際映画祭で３０以上のアワードを受賞するなど高い評価を得た。2023 年「それってパクリじゃないですか？」や「ゼイチョー」などドラマの監督も担う。2025 年初夏には長編映画初監督となる『青春ゲシュタルト崩壊』が全国劇場で公開予定。

プロデューサー　内藤 諭　SATOSHI　NAITO

愛知県生まれ。大学卒業後、フリーの制作部、プロデューサーとして日本や台湾の映画、テレビドラマの制作に携わる。プロデューサーとしての主な作品としては、映画『ハルをさがして』(第１４回中之島映画祭グランプリ受賞)、台湾ドキュメンタリー映画『湾生回家』(第５２回金馬奨ドキュメンタリー部門ノミネート、第１１回大阪アジアン映画祭観客賞受賞) 等がある。また『ものがたりの予感』の鯨岡監督と製作した小編映画『Kay』、『終点は海』の両作は国際映画祭で３０以上のアワードを受賞するなど高い評価を得る。

俳優　加藤 亮佑　RYOSUKE　KATO

群馬県生まれ。邑楽郡千代田町出身。大学卒業後、ニナガワ・スタジオにて演出家 蜷川幸雄に師事。舞台「わが魂は輝く水なり」(作・清水邦夫) など蜷川演出作品への出演を経て、映像、舞台に出演中。〈TV〉TBS 日曜劇場「陸王」/映画版「仮面ライダージオウ Over Quartzer」他

〈舞台〉 TRASHMASTERS『黄色い叫び』(作•演出:中津留章仁) /韓国現代戯曲ドラマリーディング X『激情万里』 / 他多数

〈映画〉 「車軸」(監督：松本准平) /「世界は僕らに気づかない」(監督：飯塚花笑) /「シャイロックの子供たち」(監督：元木克英) /「騙し絵の牙」(監督：吉田大八) 他 多数

〈イベント出演〉 小説・映画『のぼうの城』の舞台となった戦国時代の忍城（おしじょう）の歴史を基に発足した埼玉県行田市観光 PR 事業『忍城おもてなし甲冑隊 』の正木丹波守利英役として 2011 年から 6 年間、行田市内外をはじめ全国、海外にて演舞、イベント出演した。

今後の出演情報

〈舞台〉 令和 7 年度群馬県立館林美術館
「たてびシアター」採択事業　たてびシアター2025
『大竹 直×加藤亮佑×酒巻誉洋による、それぞれのひとり芝居』
館林美術館 別館にて 2025 年 5 月 16 日(金)−5 月 18 日(日)

〈映画〉 主演『夜想』高橋郁子 脚本・監督
（オムニバス短編映画『mothers マザーズ』より）
2025 年 2 月 28 日(金)〜3 月 6 日(木)
シアターギルド代官山にて公開他、愛知県刈谷日劇(公開中)、
大阪シアターセブン他 にて順次公開

2025 年４月１２日(土)ぐんま次世代映像クリエイターコンペ最優秀賞受賞作「ものがたりの予感」完成披露上映会